

(単位：千円)

決算書 (P270～P271)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	清里活性化交流施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
4,052	3,937				289 (使用料、謝収)	3,648
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	115			43	72	

【目的】

地域農業の振興やコミュニティ活動を推進する施設として、農業団体及び地域住民等が快適に利用できるよう、適切な管理と効率的な運営を行う。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・清里活性化交流施設の維持管理及び運営

所在地	清里区武士407番地1
設置	平成14年度
構造	鉄筋コンクリート造2階建
面積	1,393.78㎡
管理	直営(業務委託)

○施設の管理実績

- ・施設利用者数

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
			計画	実績
利用者数	9,107人	6,538人	-	7,544人

決算書 (P270～P271)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	清里活性化交流施設管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	377	286	416	289
	その他	1	0	1	0
	合計	378	286	417	289
②支出	施設維持管理費	3,041	3,397	4,025	3,910
	うち委託料	1,844	2,005	1,966	1,921
	その他	27	26	27	27
	合計	3,068	3,423	4,052	3,937
③公費投入額 (②-①)		2,690	3,137	3,635	3,648
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		295	480	-	484

【事業の成果】

- ・青少年から高齢者まで幅広い年齢層の利用があり、農業団体や地域住民等が実施する多様なコミュニティ活動の場となった。
- ・利用者数が大きく減少した平成30年度に比べ、100人を超える集会が増加したことにより令和元年度は1,006人の増加となった。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・今後も利用者が増えるよう、活動団体への周知とあわせ、引き続き広報紙等に施設紹介の記事を掲載し、利用促進を図る。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等により委託料の執行残額が発生したため 43
- ・その他：需用費、使用料及び賃借料の実績が当初の見込みを下回ったため 68
事業実施に伴い端数残額が発生したため 4

(単位：千円)

決算書 (P270～P271)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	日本自然学習実践センター管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,410	3,406					3,406
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	4				4	

【目的】

地域の自然と独自の生態系を次世代に伝え、自然や生態系保全の意義、手法等を学習する場を提供する。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・施設利用者数 800人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

名称	日本自然学習実践センター
位置	頸城区大蒲生田 4306 番地
設置目的	環境の保全の意義及び手法を実地で学習する場を市民に提供することにより、環境の保全に関する理解を深め、地域における多様な生態系を将来にわたって確保する。

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	特定非営利活動法人くびき里やま学校
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
			計画	実績
利用者数	1,395 人	1,055 人	800 人	849 人

決算書 (P270～P271)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	日本自然学習実践センター管理運営費		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度		
			予 算	実 績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	日本自然学習実践センター管理運営委託料	3,402	3,402	3,279	3,279
	管理運営委託料以外の経費	294	330	131	127
	合計	3,696	3,732	3,410	3,406
③公費投入額 (②-①)	3,696	3,732	3,410	3,406	
④利用者1人当たりの公費投入額 (単位:円)	2,649	3,537	4,263	4,012	

(参考) 指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理料平均額 (決算ベース)	①	3,402
令和元年度の指定管理料 (委託料)	②	3,279
指定管理料の増減額	②-①	△123

※過去の事業実績を踏まえ経費縮減を図ったことにより、指定管理委託料が減少した。

○指定管理者の収支状況等

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度		
			予 算	実 績	
①収入	利用料金収入	-	-	-	
	日本自然学習実践センター管理運営委託料	3,402	3,402	3,279	3,279
	その他	63	52	50	52
	合計	3,465	3,454	3,329	3,331
②支出	4,063	4,039	3,329	3,980	
差引 (①-②)	△598	△585	0	△649	

○目標達成状況

- ・広報上越等への掲載や市内学校へのPR活動により、800人の目標に対して849人の実績となり、目標を達成することができた。

【事業の成果】

- ・近接する大池いこいの森ビジターセンターと連携しながら、体験学習や自然観察などを通じて地域の自然環境及び生態系の保全に対する理解を深めることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・利用実態を踏まえ、令和2年3月31日をもって上越市日本自然学習実践センター条例を廃止した。
- ・今後は普通財産として適切な管理を行っていく。

決算書 (P270～P271)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	日本自然学習実践センター管理運営費		

【執行残額について】

- ・その他：使用料及び賃借料の実績が当初の見込みを下回ったため 3
- 事業実施に伴い端数残額が発生したため 1

(単位：千円)

決算書 (P272～P273)	6款2項1目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	市民の森管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
18,575	18,413				103 (雑収入)	18,310
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	162		40	34	88	

【目的】

地域の豊かな自然に触れる憩いの場を提供するとともに、森林を守り、育てる体験等を通じて自然環境に関する意識の高揚を図り、もって地域の特性に応じた森林の保全及び形成に資するため、施設の適切な管理と効率的な運営を行う。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

くわどり市民の森 15,319

○令和元年度目標

・施設利用者数 6,200人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	大字西谷内488番2
設置	平成14年度
施設	管理棟、分区林、遊歩道ほか
面積	272.0ha
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成18年度
指定管理者	特定非営利活動法人かみえちご山里ファン倶楽部
指定の期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
			計画	実績
利用者数	5,917人	6,114人	6,200人	5,219人

決算書 (P272～P273)	6款2項1目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	市民の森管理運営費		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度		
			予 算	実 績	
①収入	300	170	0	0	
②支出	くわどり市民の森 管理運営委託料	13,825	13,825	14,156	14,156
	管理運営委託料 以外の経費	1,509	1,376	1,211	1,163
	合計	15,334	15,201	15,367	15,319
③公費投入額 (②-①)	15,034	15,031	15,367	15,319	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	2,541	2,458	2,479	2,935	

(参考) 指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理料平均額 (決算ベース)	①	13,825
令和元年度の指定管理料 (委託料)	②	14,156
指定管理料の増減額	②-①	331

※管理内容を見直ししたため、指定管理料が増加した。

○指定管理者の収支状況等

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度		
			計 画	実 績	
①収入	利用料金収入	225	258	240	243
	くわどり市民の森 管理運営委託料	13,825	13,825	14,156	14,156
	その他	516	274	240	205
	合計	14,566	14,357	14,636	14,604
②支出	14,563	14,356	14,636	14,602	
差引 (①-②)	3	1	0	2	

○目標達成状況

- ・雨天等によりイベントを中止したことによるイベント参加者数の減少、また、10月に発生した台風により土砂崩れが発生し臨時休園したことから、目標を達成することができなかった。

決算書 (P272～P273)	6款2項1目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	市民の森管理運営費		

光ヶ原わさび田の森、光ヶ原みずばしょうの森 495

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	板倉区関田 4049 番地 (光ヶ原わさび田の森) 板倉区筒方 3251 番地 (光ヶ原みずばしょうの森)
設置	平成 13 年度
施設	木道、遊歩道ほか
面積	光ヶ原わさび田の森 5.9ha、光ヶ原みずばしょうの森 9.7ha
管理	直営 (業務委託)

二貫寺の森 1,651

○令和元年度目標

・自然観察会等参加者数 500 人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	大字杉野袋 102 番地 1
設置	平成 23 年度
施設	管理棟、遊歩道ほか
面積	28.0ha
管理	直営 (業務委託)

○施設の管理実績

・自然観察会等参加者数

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
			計画	実績
自然観察会等参加者数	469 人	653 人	500 人	1,024 人

※課主催のイベントや諏訪地区公民館による活動、外部団体等による利用者、小学校による総合学習等での利用者で、人数が把握できたものを実績とした。

・施設管理における市の収支状況

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度		
			予算	実績	
①収入	イベント参加費	9	8	15	9
	合計	9	8	15	9
②支出	施設維持管理費	1,474	1,751	1,654	1,606
	うち委託料	1,329	1,436	1,421	1,398
	その他	56	53	46	45
	合計	1,530	1,804	1,700	1,651
③公費投入額 (②-①)	1,521	1,796	1,685	1,642	
④利用者 1 人当たりの公費投入額 (単位: 円)	3,243	2,750	3,370	1,604	

決算書 (P272～P273)	6款2項1目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	市民の森管理運営費		

○目標達成状況

- ・市主催のイベントのほか、市内の小学生が総合学習等の授業で利用されたことから、目標を達成することができた。

あさひの里田麦ぶなの森園 865

○実施内容、これまでの経過等

- ・施設の概要

所在地	大島区田麦 363 番地 5
設置	平成 5 年度
施設	管理棟、トイレ、遊歩道ほか
面積	90.0ha
管理	直営（業務委託）

○施設の管理実績

- ・利用者数等

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
			計画	実績
施設利用者数	922 人	582 人	-	397 人

※越後田舎体験推進事業などの自然観察や自然散策、環境学習等の利用者で、人数が把握できたものを実績とした。

- ・施設管理における市の収支状況

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
			予算	実績
①収入	使用料収入	-	-	-
	その他	42	95	42
	合計	42	95	42
②支出	施設維持管理費	1,589	920	885
	うち委託料	409	409	441
	その他	-	-	-
	合計	1,589	920	885
③公費投入額（②-①）	1,547	825	843	770
④利用者 1 人当たりの公費投入額（単位：円）	1,678	1,418	-	1,940

【事業の成果】

くわどり市民の森

- ・指定管理者による多様な木工作体験や観察会の実施、施設周辺の草刈りや散策コースの修繕などの整備により、利用者が安全に楽しく活動することができた。

光ヶ原わさび田の森、光ヶ原みずばしょうの森

- ・施設の適切な維持管理を行うとともに、信越トレイルの登山客などの休憩及び散策施設として提供することができた。

決算書 (P272～P273)	6款2項1目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	市民の森管理運営費		

二貫寺の森

- ・自然観察会等のイベントを開催したほか、市内小学校の自然学習の場として利用してもらうことができた。また、園路や通路、ツリーハウスの修繕などを実施し、適切な維持管理に努めることができた。

あさひの里田麦ぶなの森園

- ・施設の適切な維持管理を行うとともに、自然観察などの体験プログラムを実施し、安らぐ憩いの場を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

くわどり市民の森

- ・くわどり市民の森の魅力を伝えていくため、散策道の修繕と木工作体験の内容をより充実させ、フェイスブックやホームページを活用して広く情報を発信する必要がある。

光ヶ原わさび田の森、光ヶ原みずばしょうの森

- ・多くの方から、ブナ林の美しさや、みずばしょうの群生などの豊かな自然を楽しんでもらえるよう、草刈りなど適切な維持管理に努めていく必要がある。

二貫寺の森

- ・自然観察会や自然体験イベントについて専門的な講師を招くほか、開催内容をより充実させ、利用者の増加を図るとともに、適切な維持管理に努めていく必要がある。

あさひの里田麦ぶなの森園

- ・越後田舎体験推進事業や都市・農村交流促進事業（ふるさと農園）と連携して、あさひの里の魅力を発信するとともに、新たな施設利用を含め、適切な維持管理に努めていく必要がある。

【執行残額について】

- ・事業未実施：分区林の整備等に伴い資材を購入しなかったため 40
- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 34
委託料 (34)
- ・その他：手数料、保険料、修繕料等の実績が当初の見込みを下回ったため 82
事業実施に伴い端数残額が発生したため 6

(単位：千円)

決算書 (P272～P273)	6款2項2目 林業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	松くい虫対策事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
14,164	13,517		7,410			6,107
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	647			254	393	

【目的】

春日山等の観光地、景勝地及び海岸保安林などにおいて、松くい虫被害のまん延を防止するため、薬剤散布や松くい虫の駆除を行い松林の保全を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・事業実施区域における松枯れの被害木除去率を100%とする。

○実施内容、これまでの経過等

- ・市全域

事業	防除方法	実施区域及び内容	事業費
森林病虫害防除事業補助金	樹幹注入	合併前上越市ほか 申請件数：9件	778

- ・合併前上越市、頸城区

事業	防除方法	実施区域及び内容	事業費
松くい虫防除事業	伐倒駆除	西ヶ窪浜ほか 114本 (112.00 m ³)	2,567
	薬剤散布(無人ヘリ)	西ヶ窪浜ほか 23.8ha	2,009
	被害木調査ほか	西ヶ窪浜ほか	874
合計			5,450

- ・柿崎区、大潟区

事業	防除方法	実施区域及び内容	事業費
松くい虫防除事業	伐倒駆除	上下浜ほか 342本 (90.18 m ³)	2,324
	薬剤散布(無人ヘリ)	上下浜ほか 36.7ha	3,761
	被害木調査ほか	上下浜ほか	1,204
合計			7,289

○目標達成状況

- ・事業実施区域における松枯れの被害木を全て除去し、除去率100%を達成することができた。

決算書 (P272～P273)	6款2項2目 林業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	松くい虫対策事業		

【事業の成果】

- ・薬剤散布や伐倒駆除、樹幹注入の防除事業を実施したことにより、松くい虫の被害拡大防止と松林の健全な生育に寄与することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・松くい虫被害は急激に増加することもあることから、引き続き適切な時期に薬剤散布を実施するなど、近隣にも一層配慮し、松林を保全する必要がある。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 254
委託料 (254)
- ・その他：委託料等の実績が当初の見込みを下回ったため 393

(単位：千円)

決算書 (P272～P273)	6款2項2目 林業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	森林保育管理事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
17,897	15,470		3,609			11,861
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
1,290	1,137		1,065	70	2	

【目的】

良質な地域材の生産や温暖化防止、国土保全など、森林の持つ多面的機能の維持向上のため、除間伐等を実施し、適切な保育管理を推進する。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

森林保育管理事業

○実施内容、これまでの経過等

- ・森林地図情報システム及び林地台帳システムを運用し、所有者情報などの基本情報を一元管理している。

区分	主な実施内容	事業費
森林地図情報システム 保守業務委託	森林地図情報システム保守 1式 森林GIS講習会 1回	414
森林地図情報システム データ更新業務委託	マスターデータ更新 326,820件 林地台帳システム関連データ更新 1式	429

未整備森林調査業務委託

○令和元年度目標

- ・令和2年度以降に実施する森林所有者に対して行う森林の経営管理に関する意向調査の準備として、意向調査対象森林図等の整備及び森林地図情報システムの新たなシステムを構築させる。

○実施内容、これまでの経過等

- ・平成31年4月1日に施行された森林経営管理法に基づき、新たな森林経営管理制度について令和元年度から取組を開始した。

区分	主な実施内容	事業費
未整備森林調査業務委託	意向調査対象森林図等 1式(市内14区域) 森林地図情報システム構築 1式	3,410

○目標達成状況

- ・意向調査対象森林図等の整備及び森林地図情報システムの新たなシステムを構築し、目標を達成することができた。

決算書 (P272～P273)	6款2項2目 林業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	森林保育管理事業		

市営分収林整備

○令和元年度目標

- ・市営分収林の利用間伐 5.0ha を完了させる。

○実施内容、これまでの経過等

- ・分収造林契約に基づき、造林地における造林木の施業（保育管理）を実施している。

区分	主な実施内容	事業費
市営分収林土口団地整備 業務委託	利用間伐 6.2ha 作業路開設 370m	6,870
東京オリパラ提供材運搬 業務委託	東京オリンピック・パラリンピック選手村 ビレッジプラザ建設用木材運搬 21 m ³	200

○目標達成状況

- ・市営分収林の利用間伐について、施業の集約効率化により、5.0ha の目標に対して、6.2ha の実績となり、目標を達成することができた。

森林総合研究所分収林整備

○令和元年度目標

- ・横倉第2団地の除伐 4.0ha を完了させる。

○実施内容、これまでの経過等

- ・分収造林契約に基づき、造林地における造林木の施業（保育管理）を実施している。

○目標達成状況

- ・施業地へのアクセス道である林道宇津俣線が台風19号の被災により通行不能となったため、施業が実施できず、目標を達成することができなかった。

【事業の成果】

森林保育管理事業

- ・森林地図情報システムの実績データ更新及び保守点検を適切に行ったことにより、森林の所在地や所有者等の基本情報を一元管理し、森林整備の円滑化に寄与することができた。

未整備森林調査業務委託

- ・森林経営管理制度（森林経営管理法）に基づき、市内全域の私有林において適切な森林の経営や管理が行われていない未整備森林の調査を実施した。
- ・令和2年度以降に実施する森林所有者に対して行う森林の経営管理に関する意向調査の準備として、意向調査対象森林図等の整備及び森林地図情報システムの構築が図られた。

市営分収林整備

- ・良質な木材生産に向けて適切な保育管理（間伐）を実施することができた。

森林総合研究所分収林整備

- ・横倉第2団地の除伐について、年度内の完了ができなかった。

決算書 (P272～P273)	6款2項2目 林業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	森林保育管理事業		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

森林保育管理事業

- ・森林行政事務の円滑化や効率的な森林の施業集約化のため、森林の土地の所有者や境界に関する情報を整理した林地台帳の整備が必要である。

未整備森林調査業務委託

- ・令和元年度の事業成果を基に未整備森林意向調査を順次実施し、未整備森林の適切な経営や管理を市が仲介役となり進めていく必要がある。

市営分収林整備

- ・今後も良質な木材生産を実現するため、各市営分収林の生育状況に応じた適切な保育管理を計画的に実施する必要がある。
- ・保育管理（間伐）を計画的に実施し、利用間伐を進めることにより木材の安定供給を図っていく。あわせて、市内産材の利用を促進していく必要がある。

森林総合研究所分収林整備

- ・水資源のかん養機能の維持や土砂災害の発生を防止するため、分収林の除伐等の森林整備を継続して実施し、適切な保育管理を実施する。
- ・令和2年度へ繰越した横倉第2団地の除伐について、早期発注に努め確実に実施する。

【執行残額について】

- ・事業未実施：契約内容の見直しに伴い機器借上期間の一部を短縮したため 1,065
- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 70
委託料 (70)
- ・その他：事業実施に伴い端数残額が発生したため 2

(単位：千円)

決算書 (P272～P273)	6款2項2目 林業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	林業振興補助費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
7,689	6,687			2,700		3,987
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,002				1,002	

【目的】

民有林の間伐や枝打ち等に係る経費を助成し、森林所有者の負担を軽減することにより、良質な地域材の生産と地球温暖化防止等に資する。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

森林整備事業補助金

○令和元年度目標

- ・森林所有者が行う 50.2ha の森林整備に対して支援する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・民有林の間伐、枝打ち等に係る所有者の負担を軽減し、森林整備を推進する。

実施内容	実施面積、延長	事業費
利用間伐、保育間伐、下刈り、枝打ち	40.52 ha	6,687
雪起こし	0.12 ha	
作業道整備	3,152 m	

○目標達成状況

- ・利用間伐等の森林整備実施面積が 40.64ha となり、目標を達成することができなかった。

【事業の成果】

民有林の間伐や枝打ち等に係る森林所有者の負担軽減が図られ、良質な地域材の生産と地球温暖化防止に貢献することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・申請者が作業量の確認に時間を要すなど、想定した整備内容の大幅変更等に伴い補助金交付申請を見送ったことから、目標面積の達成に至らなかった。
- ・早期に作業量の確定を促すことにより、事業目的が達成できるよう、指導に努める必要がある。

【執行残額について】

- ・その他：申請者が補助金交付申請を辞退したため 1,002

(単位：千円)

決算書 (P274～P275)	6款2項3目 林道整備事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	既設林道維持管理事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
66,123	60,399		14,040	5,200	5,000 (繰入金)	36,159
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	5,724	185	3,275	1,838	426	

【目的】

既設林道の維持工事及び草刈り、側溝清掃などを実施するほか、林道巡視業務を行うことにより、災害発生の未然防止に努めるとともに、林道災害発生時の応急対応を行う。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・市が管理する林道延長、路線数

区名	林道延長	路線数	備考(平成30年度比)
合併前上越市	44,123m	15路線	
安塚区	32,393m	9路線	
浦川原区	13,884m	4路線	
大島区	22,969m	11路線	
牧区	16,233m	5路線	
柿崎区	23,528m	12路線	
大潟区	-	-	
頸城区	8,506m	3路線	
吉川区	24,561m	9路線	
中郷区	9,446m	3路線	
板倉区	21,066m	7路線	
清里区	28,739m	10路線	
三和区	5,469m	2路線	
名立区	31,619m	7路線	林道大町躰畑線 413m増
合計	282,536m	97路線	

決算書 (P274～P275)	6款2項3目 林道整備事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	既設林道維持管理事業		

・主な実施内容

区 分	内 訳
実施設計委託料	林道橋補修設計業務委託 2件
林道維持管理業務委託料	林道巡視業務委託 97路線
林道除草業務委託料	除草業務委託 77路線
林道除雪業務委託料	春先除雪業務委託 20路線
林道維持工事	維持修繕工事 10件

【事業の成果】

- ・林道巡視業務による定期パトロールを実施したほか、除草業務や側溝清掃業務を実施し、林道施設の機能を維持・保全し、利用者の利便性の向上と安全な通行を確保することができた。
- ・林道南葉山線法面保護工事について、融雪後、法面の上部に新たな亀裂が発生し施工できなくなり、当初計画とおり達成できなかった。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・災害の発生を未然に防ぎ、安全な通行を確保するため、適切に維持管理する必要がある。
- ・林道南葉山線法面保護工事について、法面の亀裂が広範囲となったことから、対応策について検討していく必要がある。

【執行残額について】

- ・事業費節減：災害による林道巡視延長の減や、除草面積を精査したため 185
- ・事業未実施：災害等により現場状況が変化し、事業の実施を見送ったため 2,816
現場調査により安全施設撤去業務を実施しなかったため 459
- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 1,838
委託料 (1,607)、工事請負費 (231)
- ・その他：委託業務及び工事内容の精査等に伴い減となったため 383
事業実施に伴い端数残額が発生したため 43

(単位：千円)

決算書 (P274～P275)	6款2項3目 林道整備事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	林道大町躰畑線整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
64,307	64,246		44,940	19,300		6
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	61			38	23	

【目的】

林道を開設することにより、沿線における間伐・枝打ちなどの森林整備事業を促進し、林業の振興を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・林道開設を453m実施し、進捗率を68.3%とする。(平成30年度60.5%)

○実施内容、これまでの経過等

<事業進捗状況>

区分	全体計画 (平成17年度～令和6年度)	平成30年度 まで	令和元年度	令和2年度 以降
工事延長 (m)	5,867	3,552	413	1,902
補助対象事業費 (千円)	823,034	493,883	64,200	264,951
開設進捗率 (%)		60.5	67.6	

○目標達成状況

- ・現地測量の結果、想定よりも土工量が増加し、残土運搬処理に経費を要したことから、目標を達成することができなかった。

【事業の成果】

- ・林道沿線に広く分布する杉人工林の整備促進(利用間伐、保育間伐、下刈り、枝打ち)が図られた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

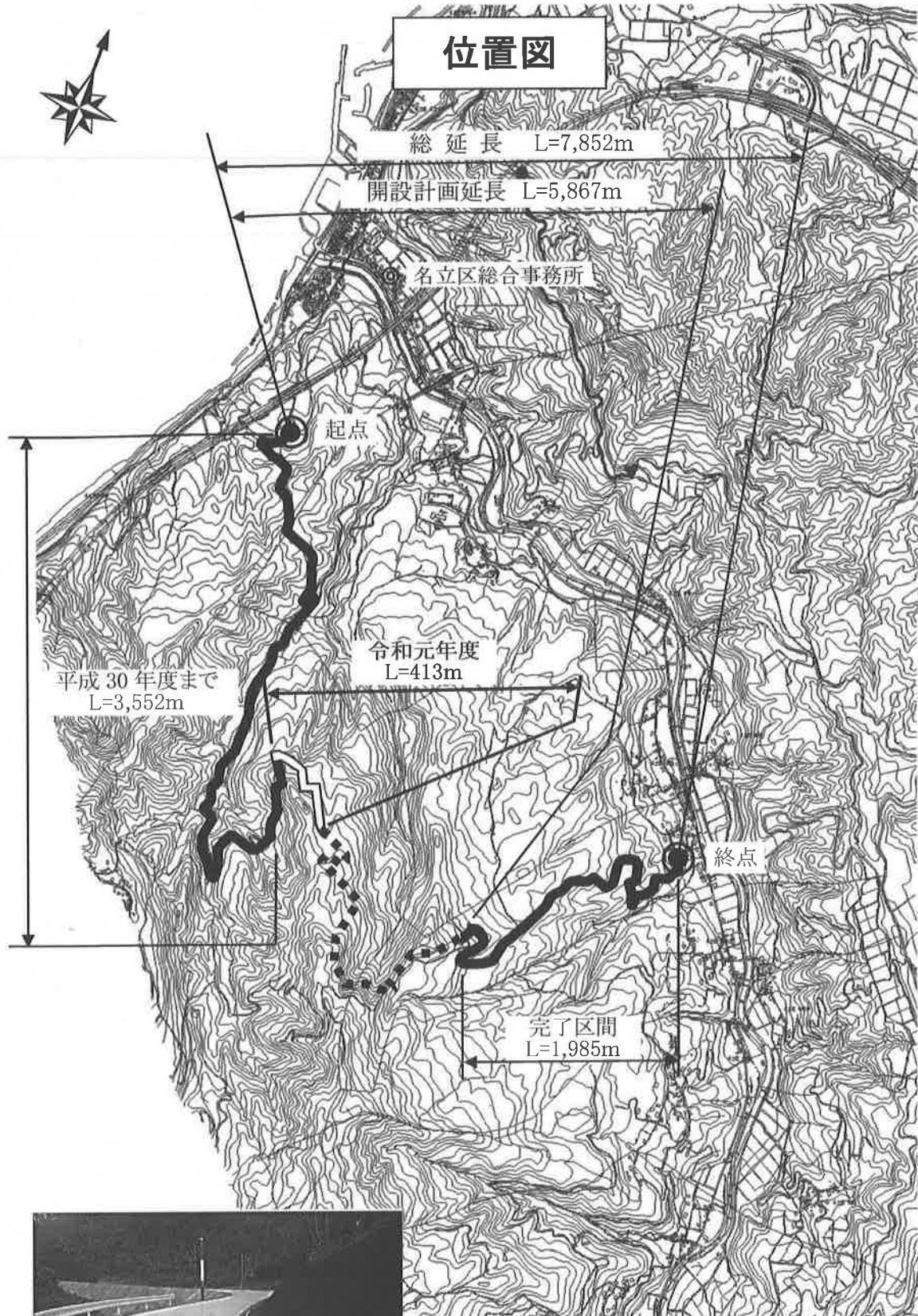
- ・沿線における森林整備事業を促進し、林業の振興が図られるよう早期の事業完了に取り組む必要がある。

決算書 (P274～P275)	6款2項3目 林道整備事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	林道大町躰畑線整備事業		

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 38
工事請負費 (38)
- ・その他：立木補償料の精査等に伴い減となったため 21
事業実施に伴い端数残額が発生したため 2

位置図



開設後

凡例		延長
平成30年度まで (完了区間含む)	——	5,537m
令和元年度	□	413m
令和2年度以降	1,902m

(単位：千円)

決算書 (P274～P275)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	南葉高原キャンプ場管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
9,747	9,622					9,622
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	125		53	69	3	

【目的】

林業の振興、市民の休養、健康増進及び森林環境学習の推進を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・施設利用者数 17,000人

○実施内容、これまでの経過等

- ・施設の概要

名称	南葉高原キャンプ場
位置	大字中ノ俣 4966番地 194他
設置目的	林業の振興並びに市民の休養、健康増進及び森林環境学習の推進を図る

- ・指定管理の状況

導入開始年度	平成18年度
指定管理者	南葉高原キャンプ場管理運営協議会
指定の期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで

○施設の管理実績

- ・利用者数等

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
			計画	実績
利用者数	16,654人	17,012人	17,000人	17,884人
宿泊者数	4,050人	4,150人	-	4,637人
日帰り者数	12,604人	12,862人	-	13,247人

決算書 (P274～P275)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	南葉高原キャンプ場管理運営費		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度		
			予 算	実 績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	南葉高原キャンプ場管理運営委託料	8,303	8,303	8,188	8,188
	管理運営委託料以外の経費	1,996	3,320	1,559	1,434
	合計	10,299	11,623	9,747	9,622
③公費投入額 (②-①)	10,299	11,623	9,747	9,622	
④利用者1人当たりの公費投入額 (単位:円)	618	683	573	538	

(参考) 指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理料平均額 (決算ベース)	①	8,303
令和元年度の指定管理料 (委託料)	②	8,188
指定管理料の増減額	②-①	△115

※管理内容を見直したため、指定管理料が減少した。

○指定管理者の収支状況等

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度		
			計 画	実 績	
①収入	利用料金収入	3,277	4,002	2,000	4,151
	南葉高原キャンプ場管理運営委託料	8,303	8,303	8,188	8,188
	その他	3,893	3,788	3,206	4,017
	合計	15,473	16,093	13,394	16,356
②支出	15,018	15,468	13,394	16,309	
差引 (①-②)	455	625	0	47	

○目標達成状況

- ・夏休みの集客が堅調に推移し、目標を達成することができた。

【事業の成果】

- ・施設内の維持管理を適切に行い、利用者に休養と健康増進の快適な環境を提供することができた。

決算書 (P274～P275)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	南葉高原キャンプ場管理運営費		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・引き続き施設の利用実態や管理等の諸課題について、指定管理者と協議をする必要がある。

【執行残額について】

- ・事業未実施：事業内容の見直しに伴い執行残額が発生したため 53
- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 69
工事請負費 (69)
- ・その他：事業実施に伴い端数残額が発生したため 3

(単位：千円)

決算書 (P274～P275)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	菖蒲高原緑地休養広場管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
6,845	6,809					6,809
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	36			17	19	

【目的】

森林の有する幅広い効用を活用するとともに、野外での交流等の場を提供することにより、地域住民の連帯感の醸成及び市民の健康増進を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・施設利用者数 2,900人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

名称	菖蒲高原緑地休養広場
位置	大島区菖蒲 2962 番地 1
設置目的	森林の有する幅広い効用を活用するとともに、野外での交流等の場を提供することにより、地域住民の連帯感の醸成及び市民の健康増進並びに農林業者の就業機会の拡大に寄与する。

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	菖蒲高原管理運営組合
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
			計画	実績
利用者数	2,788 人	2,715 人	2,900 人	2,990 人
宿泊者数	792 人	713 人	-	659 人
日帰り者数	1,996 人	2,002 人	-	2,331 人

決算書 (P274～P275)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	菖蒲高原緑地休養広場管理運営費		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
				予 算	実 績
①収入		-	-	-	-
②支出	菖蒲高原緑地休養広場管理運営委託料	6,290	6,290	6,137	6,137
	管理運営委託料以外の経費	589	521	708	672
	合計	6,879	6,811	6,845	6,809
③公費投入額 (②-①)		6,879	6,811	6,845	6,809
④利用者1人当たりの公費投入額 (単位:円)		2,467	2,509	2,360	2,277

(参考) 指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理料平均額 (決算ベース)	①	6,290
令和元年度の指定管理料 (委託料)	②	6,137
指定管理料の増減額	②-①	△153

※管理内容を見直ししたため、指定管理委託料が減少した。

○指定管理者制度導入施設における指定管理者の収支状況等

区 分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	2,075	2,290	1,200	2,371
	菖蒲高原緑地休養広場管理運営委託料	6,290	6,290	6,137	6,137
	その他	1,263	1,259	1,000	1,280
	合計	9,628	9,839	8,337	9,788
②支出		8,915	9,107	8,337	8,442
差引 (①-②)		713	732	0	1,346

○目標達成状況

- ・少雪によりゴールデンウィークから営業を行った結果、利用者が増加したことから、目標を達成することができた。

【事業の成果】

- ・施設内の維持管理を適切に行い、野外での交流等の場を提供することにより、市民の健康増進が図られた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・周辺の観光スポットと連携を図り、更なる利用者の増加に取り組む必要がある。

決算書 (P274～P275)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	菖蒲高原緑地休養広場管理運営費		

【執行残額について】

- ・入札差金：入札に伴い執行残額が発生したため 17
 需用費 (17)
- ・その他：借地契約更新に伴い賃借料の見直しをしたため 19

(単位：千円)

決算書 (P274～P275)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	大潟夕日の森管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,407	1,396					1,396
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	11				11	

【目的】

利用者の安全と快適性の確保に努め、市民に心安らく憩いの場を提供する施設として、適切な管理と効率的な運営を行う。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・大潟夕日の森の維持管理及び運営

所在地	大潟区潟町 209 番地ほか
設置	昭和 55 年度
施設	夕日の森展望台、遊歩道、ハマナスの池、駐車場 1,200 m ² (40 台)、トイレ 2 か所
面積	11.5ha
管理	直営 (業務委託)

- ・施設管理における市の収支状況

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
			予算	実績
①収入	使用料収入	-	-	-
	その他	-	-	-
	合計	-	-	-
②支出	施設維持管理費	1,366	1,599	1,407
	うち委託料	1,119	1,119	1,121
	その他	-	-	-
	合計	1,366	1,599	1,407
③公費投入額 (②-①)	1,366	1,599	1,407	1,396

【事業の成果】

- ・草刈りなど適切な維持管理を行い、利用者が快適に利用できる施設を提供することができた。

決算書 (P274～P275)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	大瀉夕日の森管理運営費		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・利用者の安全と快適性を確保するため、引き続き、施設の適切な維持管理を実施していく必要がある。

【執行残額について】

- ・その他：光熱水費等の実績が当初の見込みを下回ったため 8
事業実施に伴い端数残額が発生したため 3

(単位：千円)

決算書 (P274～P277)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	上下浜日本海夕日の森管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
710	701				9 (諸収入)	692
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	9				9	

【目的】

利用者の安全と快適性の確保に努め、市民に心安らぐ憩いの場を提供する施設として、適切な管理と効率的な運営を行う。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・上下浜日本海夕日の森の維持管理及び運営

所在地	柿崎区上下浜 244 番地 1 ほか
設置	平成 7 年度
施設	駐車場 1,200 m ² (40 台)、トイレ 1 か所、遊歩道
面積	2.5ha
管理	直営 (業務委託)

- ・施設管理における市の収支状況

区分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
				予算	実績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	9	9	9	9
	合計	9	9	9	9
②支出	施設維持管理費	880	777	710	701
	うち委託料	385	384	396	390
	その他	-	-	-	-
	合計	880	777	710	701
③公費投入額 (②-①)		871	768	701	692

【事業の成果】

- ・草刈りなど適切な維持管理を行い、利用者が快適に利用できる施設を提供することができた。

決算書 (P274～P277)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	上下浜日本海夕日の森管理運営費		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・利用者の安全と快適性を確保するため、引き続き、施設の適切な維持管理を実施していく必要がある。

【執行残額について】

- ・その他：光熱水費等の実績が当初の見込みを下回ったため 2
事業実施に伴い端数残額が発生したため 7

(単位：千円)

決算書 (P276～P277)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	やすらぎの森大島管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
235	225				9 (諸収入)	216
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	10				10	

【目的】

利用者の安全と快適性の確保に努め、市民に心安らぐ憩いの場を提供する施設として、適切な管理と効率的な運営を行う。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・やすらぎの森大島の維持管理及び運営

所在地	大島区大島 2099 番地
設置	平成 15 年度
施設	管理棟、トイレ、遊歩道ほか
面積	12.0ha
管理	直営(業務委託)

○施設の管理実績

- ・利用者数等

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
			計画	実績
利用者数	98 人	193 人	-	147 人

※越後田舎体験推進事業などでの自然観察や自然散策、環境学習等の利用者で、人数が把握できたものを実績とした。

決算書 (P276～P277)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	やすらぎの森大島管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
			予算	実績
①収入	使用料収入	-	-	-
	その他	9	9	9
	合計	9	9	9
②支出	施設維持管理費	219	217	235
	うち委託料	203	203	210
	その他	-	-	-
	合計	219	217	235
③公費投入額 (②-①)		210	208	226
④利用者1人当たりの公費投入額 (単位:円)		2,143	1,078	-
				1,469

【事業の成果】

- ・草刈りなど適切な維持管理を行い、利用者が快適に利用できる施設を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・越後田舎体験推進事業と連携して、やすらぎの森大島の魅力を発信するとともに、適切な維持管理に努めていく必要がある。

【執行残額について】

- ・その他：需要費、役務費、諸資材費の実績が当初の見込みを下回ったため 10

(単位：千円)

決算書 (P276～P277)	6款3項1目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	海洋フィッシングセンター管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,855	3,827					3,827
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	28			21	7	

【目的】

水産業の振興と市民の健全な余暇活動の増進を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・利用者数 10,000人

○実施内容、これまでの経過等

- ・施設の概要

名称	海洋フィッシングセンター
位置	大字虫生岩戸719番地先
設置目的	水産業の振興と市民の健全な余暇活動の増進を図るため。

- ・指定管理の状況

導入開始年度	平成23年度
指定管理者	環境をサポートする株式会社きらめき
指定の期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで

○施設の管理実績

- ・利用者数等

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
			計画	実績
利用者数	8,449人	8,081人	10,000人	8,669人

決算書 (P276～P277)	6款3項1目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	海洋フィッシングセンター管理運営費		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
				予 算	実 績
①収入		-	-	-	-
②支出	海洋フィッシングセンター管理運営委託料	501	500	541	541
	管理運営委託料以外の経費	5,881	6,187	3,314	3,286
	合計	6,382	6,687	3,855	3,827
③公費投入額 (②-①)		6,382	6,687	3,855	3,827
④利用者1人当たりの公費投入額 (単位:円)		755	827	386	441

(参考) 指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理料平均額 (決算ベース)	①	513
令和元年度の指定管理料 (委託料)	②	541
指定管理料の増減額	②-①	28

※過去の実績を踏まえ委託料を算定したため、指定管理料が増加した。

○指定管理者の収支状況等

区 分		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	1,265	1,211	1,310	1,202
	海洋フィッシングセンター管理運営委託料	501	500	541	541
	その他	1,617	1,488	1,652	1,462
	合計	3,383	3,199	3,503	3,205
②支出		3,018	2,824	3,503	2,832
差引 (①-②)		365	375	0	373

○目標達成状況

- ・夏休み期間の猛暑と10月の台風により利用者が大幅に減少したことから、目標を達成することができなかった。

【事業の成果】

- ・定期的に親子釣り教室や夏休み感謝祭を開催し、釣りを通じて海と触れ合う機会を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・水産業の振興のため、指定管理者と連携したPR活動を行い、更なる集客に努める必要がある。

決算書 (P276～P277)	6款3項1目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	海洋フィッシングセンター管理運営費		

【執行残額について】

- ・入札差金：入札に伴い執行残額が発生したため 21
工事請負費 (21)
- ・その他：修繕料、使用料の実績が当初の見込みを下回ったため 6
事業実施に伴い端数残額が発生したため 1

(単位：千円)

決算書 (P276～P277)	6款3項1目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	水産業活性化対策事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,236	2,225		300			1,925
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	11				11	

【目的】

持続的な漁業生産を確保するため、漁業環境の整備を推進し、水産資源の維持を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・漁業団体が行う水産資源の維持を図る取組を支援する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・漁業種苗放流事業補助金

漁場	事業主体	魚種	数量	事業費
海面	上越市漁業協同組合	ヒラメ	22,900尾	893
		クルマエビ	100,000尾	
内水面	関川水系漁業協同組合	アユ	270kg	426
	桑取川漁業協同組合	アユ	80kg	125
合計		-	-	1,444

○目標達成状況

- ・漁業協同組合が行った、ヒラメやアユなどの種苗放流に対し支援した。

【事業の成果】

- ・水産資源の維持に向けた取組として、漁業協同組合が地域の小学生と連携して実施するヒラメやアユなどの種苗放流に要する経費を支援し、持続的な漁業生産量の確保に寄与することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・地域水産業の持続的な漁業生産量を確保するため、引き続き、水産資源の維持増大を図るための取組を支援する必要がある。

【執行残額について】

- ・その他：事業実施に伴い端数残額が発生したため 11

(単位：千円)

決算書 (P276～P277)	6款3項1目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	漁港漁村活性化事業 (フィッシャリーナ)		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
11,058	10,971		2,243		2,657 (使用料、譜収入)	6,071
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	87			39	48	

【目的】

漁港施設の適切な維持管理を実施し、安全・安心な漁業の推進とあわせて、漁港施設の利便性を確保する。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

・有間川漁港の概要

所在地	大字有間川地内
設置経過	昭和49年 第1種漁港指定 昭和50年 着工 平成25年 完成

・主な事業内容

休憩施設浄化槽入替工事 3,650

○施設の管理実績

・フィッシャリーナ利用実績

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
プレジャーボート	4隻	4隻	2隻
営業船(釣船等)	7隻	7隻	11隻
ヨット	1隻	1隻	1隻
合計	12隻	12隻	14隻

決算書 (P276～P277)	6款3項1目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	漁港漁村活性化事業 (フィッシャリーナ)		

・施設管理における市の収支状況

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
			予算	実績	
①収入	使用料収入	2,527	2,505	2,525	2,616
	その他	41	41	40	41
	合計	2,568	2,546	2,565	2,657
②支出	施設維持管理費	23,097	6,811	9,800	9,723
	うち委託料	2,861	2,934	3,100	3,091
	その他	389	389	-	-
	合計	23,486	7,200	9,800	9,723
③公費投入額 (②-①)	20,918	4,654	7,235	7,066	
④利用船1隻当たりの 公費投入額 (単位:円)	1,743,166	387,833	602,917	504,714	

※フィッシャリーナに係る経費を算出し、有間川漁港に係る経費は除く。

【事業の成果】

- ・適切な維持管理の実施により、船舶の安全性や漁港利用者の利便性を確保することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・定期的な巡回や利用者への聞き取り等により施設の状況を把握し、船舶の入出港や係留に支障を来すことのないよう、引き続き、適切な維持管理を実施していく必要がある。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札に伴い執行残額が発生したため 39
工事請負費 (39)
- ・その他：報償費、旅費、役務費、委託料の実績が当初の見込みを下回ったため 42
事業実施に伴い端数残額が発生したため 6

(単位：千円)

決算書 (P276～P279)	6款3項2目 漁港建設費	所管課等	農林水産整備課
事業名	柿崎漁港整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
6,781	6,751				19 (諸収入)	6,732
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	30				30	

【目的】

漁港施設の適切な維持管理を実施し、安全・安心な漁業の推進とあわせて、漁港施設の利便性の向上を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

・柿崎漁港の概要

所在地	柿崎区直海浜地内
設置経過	昭和52年 第1種漁港指定 昭和53年 着工 平成11年 供用開始 平成21年 完成

・主な事業内容

維持浚渫工事 5,480

○施設の管理実績

・施設管理における市の収支状況

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
				予算	実績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	19	19	19	19
	合計	19	19	19	19
②支出	施設維持管理費	5,427	16,685	6,781	6,751
	うち委託料	162	376	262	258
	その他	-	-	-	-
	合計	5,427	16,685	6,781	6,751
③公費投入額(②-①)		5,408	16,666	6,762	6,732

決算書 (P276～P279)	6款3項2目 漁港建設費	所管課等	農林水産整備課
事業名	柿崎漁港整備事業		

【事業の成果】

- ・港内の浚渫^{しゅんせつ}工事を行い、船舶の安全性や漁港利用者の利便性を確保することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・定期的な巡回や漁業協同組合への聞き取り等により施設の状況を把握し、漁船の入出港や係留に支障を来すことのないよう、引き続き、適切な維持管理を実施していく必要がある。

【執行残額について】

- ・その他：旅費、需用費、役務費、委託料、工事請負費の実績が当初の見込みを下回ったため 30

(単位：千円)

決算書 (P278～P279)	6款3項2目 漁港建設費	所管課等	農林水産整備課
事業名	大潟漁港整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
9,617	8,959				14 (使用料)	8,945
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	658			584	74	

【目的】

漁港施設の適切な維持管理を実施し、安全・安心な漁業の推進とあわせて、漁港施設の利便性の向上を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

・大潟漁港の概要

所在地	大潟区渋柿浜地内
設置経過	昭和57年 第1種漁港指定 昭和57年 着工 平成17年 供用開始 平成27年 完成

・主な事業内容

西防波堤・物揚場機能保全計画策定業務委託 7,503
滑り材修繕工事 893

○施設の管理実績

・施設管理における市の収支状況

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
				予算	実績
①収入	使用料収入	14	14	14	14
	その他	-	-	-	-
	合計	14	14	14	14
②支出	施設維持管理費	5,432	677	9,617	8,959
	うち委託料	129	144	8,281	7,686
	その他	-	-	-	-
	合計	5,432	677	9,617	8,959
③公費投入額(②-①)		5,418	663	9,603	8,945

決算書 (P278～P279)	6款3項2目 漁港建設費	所管課等	農林水産整備課
事業名	大潟漁港整備事業		

【事業の成果】

- ・西防波堤・物揚場機能保全計画策定業務委託を行い、令和2年度以降実施する補強工事の実施設計が完了した。
- ・滑り材修繕工事を行い、船舶の安全性や漁港利用者の利便性を確保することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・定期的な巡回や漁業協同組合への聞き取り等により施設の状況を把握し、漁船の入出港や係留に支障を来すことのないよう、引き続き、適切な維持管理を実施していく必要がある。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札に伴い執行残額が発生したため 584
委託料 (584)
- ・その他：事業実施に伴い端数残額が発生したため 74

(単位：千円)

決算書 (P378～P381)	11款1項1目 農地、農業用施設災害復旧費	所管課等	農林水産整備課
事業名	農地、農業用施設災害復旧費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
598,283	253,798	2,690	22,530	31,100	24,297 (分担金、繰越金、 諸収入)	173,181
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
339,637	4,848				4,848	

【目的】

融雪、豪雨等により被災した農地、農業用施設を復旧し、農業経営基盤の維持を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- 被災した農地及び農業用施設の速やかな復旧を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- 令和元年度災害復旧工事件数

区分	平成30年度(繰越)		令和元年度					合計
	公共災害	小規模災害	公共災害	小規模災害				
	8月豪雨	11月豪雨	台風19号	融雪	6月豪雨等	台風19号		
合併前上越市	1	-	2 (2)	1	5	49 (13)	58 (15)	
安塚区	-	1	-	3	-	32 (13)	36 (13)	
浦川原区	1	1	-	-	1 (1)	7	10 (1)	
大島区	-	1	1 (1)	7	3 (2)	27 (13)	39 (16)	
牧区	-	-	5 (5)	29	9	64 (38)	107 (43)	
柿崎区	-	-	-	-	5	10	15	
頸城区	-	-	-	1	-	1	2	
吉川区	-	-	-	4	3	3	10	
中郷区	-	-	3 (3)	-	-	39 (4)	42 (7)	
板倉区	-	-	2 (2)	4	29	73 (48)	108 (50)	
清里区	-	-	3 (3)	11	23	21 (6)	58 (9)	
三和区	-	-	-	-	-	1	1	
名立区	-	-	5 (5)	5	11 (3)	56 (12)	77 (20)	
合計	2	3	21 (21)	65	89 (6)	383 (147)	563 (174)	
				537 (153)				

()内は、令和2年度へ繰り越した件数。なお、件数には土地改良区及び県が施工する工事を含む。

決算書 (P378～P381)	11 款 1 項 1 目 農地、農業用施設災害復旧費	所管課等	農林水産整備課
事業名	農地、農業用施設災害復旧費		

○目標達成状況

- ・平成 30 年度の大雨により被災した農地、農業用施設は全ての復旧を完了したほか、令和元年度の融雪や台風等により被災した農地、農業用施設については、耕作に大きな支障が生じないよう復旧を完了し、農業経営基盤の維持を図ることができた。

【事業の成果】

- ・平成 30 年度に発生した公共災害 2 件及び小規模災害 3 件について復旧工事が完了した。
- ・令和元年度に発生した公共災害 21 件及び小規模災害 537 件のうち、小規模災害 384 件の復旧工事が完了した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・降雪等により令和 2 年度へ繰り越した公共災害 21 件及び小規模災害 153 件については、地元等と調整を図り、引き続き、復旧工事の早期完了に努める。
- ・今後も農業農村の維持と農業経営の安定のため、災害の未然防止を図るとともに災害が発生した際は、早期着手と早期完了に努める必要がある。

【執行残額について】

- ・その他：旅費、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金、工事請負費の実績が当初の見込みを下回ったため 4,829
事業実施に伴い端数残額が発生したため 19

(単位：千円)

決算書 (P380～P381)	11款1項2目 林業用施設災害復旧費	所管課等	農林水産整備課
事業名	林業用施設災害復旧費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
247,359	87,899		8,144	20,500		59,255
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
158,136	1,324		450		874	

【目的】

融雪、豪雨等により被災した林業用施設を復旧し、林道経営基盤の維持を図る。

令和元年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和元年度目標

- ・被災した林業用施設の速やかな復旧を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・令和元年度災害復旧工事件数

区分	令和元年度				合計
	公共災害	小規模災害			
	台風19号	融雪	6月豪雨等	台風19号	
合併前上越市	1 (1)	3	2	21	27 (1)
安塚区	-	1	-	7 (4)	8 (4)
浦川原区	-	-	-	-	-
大島区	1 (1)	1	-	12 (2)	14 (3)
牧区	-	1	1	3	5
柿崎区	-	-	1	-	1
頸城区	-	-	-	-	-
吉川区	-	-	-	1 (1)	1 (1)
中郷区	1 (1)	-	1	12	14 (1)
板倉区	4 (4)	1	3	12 (7)	20 (11)
清里区	1 (1)	1	4	10 (2)	16 (3)
三和区	-	1	-	1	2
名立区	-	-	2	13	15
合計	8 (8)	9	14	92 (16)	123 (24)
			115 (16)		

()内は、令和2年度へ繰り越した件数

決算書 (P380～P381)	11款1項2目 林業用施設災害復旧費	所管課等	農林水産整備課
事業名	林業用施設災害復旧費		

○目標達成状況

- 令和元年度の融雪や台風等により被災した林業用施設については、林業経営等に支障が生じないよう復旧を完了し、林業経営基盤の維持を図ることができた。

【事業の成果】

- 令和元年度に発生した公共災害 8 件及び小規模災害 115 件のうち、小規模災害 99 件の復旧工事が完了した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- 降雪等により令和 2 年度へ繰り越した公共災害 8 件及び小規模災害 16 件については、地元等と調整を図り、引き続き、復旧工事の早期完了に努める。
- 今後も林業経営及び森林整備のため、災害の未然防止を図るとともに災害が発生した際は、早期着手と早期完了に努める必要がある。

【執行残額について】

- 事業未実施：事業の見直しに伴い執行残額が発生したため 450
- その他：実績が当初の見込みを下回ったため 874
委託料 (614)、工事請負費 (260)